国土交通大臣賞に百戦錬磨

ジャパン・ツーリズム・アワード

前回の表彰式

日本観光振興協会と日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は9月12日、国内、海外の団体、組織、企業の持続可能で優れた取り組みを表彰する2019年度「第5回ジャパン・ツーリズム・アワード」の各賞を発表した。今年から設定された「国土交通大臣賞」には百戦錬磨の「農泊と世界をつなぐ地域活性化サービス」が受賞した。

ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西の主要4事業のうちの顕彰事業。優秀なモデルとして受賞の取り組みを社会に知らしめ、ツーリズムへの理解と発展に寄与することを目的とする。表彰式は10月24日にハイアットリージェンシー大阪で開催する。

賞は「国内・訪日」「海外」の2領域に、交流人口の拡大やツーリズム業界の価値向上に大きく貢献した取り組みの「ビジネス」、国・地域の観光関連組織が一体となって進める魅力ある観光地域づくりや、固有の観光資源を生かした総合的地域活性化に結び付く取り組みの「地域」の2部門がそれぞれ設定されている。5回目を迎えた今年は3月15日から5月31日まで募集を行い、国内外から209件の応募があった（18年は261件）。

領域・部門全体から国土交通大臣賞に選ばれた百戦錬磨の取り組み（国内・訪日領域ビジネス部門）は、「訪日客を対象にした新しい宿泊スタイルの提案である。農家など外国人の受け入れに不安のある施設の課題解決にきめ細かく対応する取り組みは先駆的かつ発展性の高く、地方へのインバウンド誘致の切り札になることを期待する」と高く評価された。

「観光庁長官賞」も今年から新設され、3団体が受賞した。国内・訪日領域の地域部門から選ばれた佐賀嬉野バリアフリーセンター「嬉野温泉のバリアフリー化は第5段階へ～民間救急との連携」（「UNWTO倫理特別賞」と同時受賞）は、「医療機関と協力して障がい者、高齢者など一人では入浴困難な人々のサポートをして安心・安全に温浴を健常者同様に楽しむことから、極めて社会性の高い取り組み」と評価された

同じく国内・訪日領域の地域部門から田辺市熊野ツーリズムビューロー「聖地・熊野における地域ぐるみの新しい観光モデルへの挑戦」（「DMO推進特別賞」と同時受賞）も受賞。「世界遺産『熊野古道』を地元住民・企業との連携と理解のもと保存と継承を進め、多くの来訪者を受け入れる実績を持つ持続的かつ社会性の高い取り組み」との評価だった。

海外領域の地域部門から選ばれたのは、パラオ政府観光局「世界初の環境保護誓約『Palau Pledgeの創造』」。「国外からの来訪者に自然保護を誓約させることは画期的であり、かつ観光地として持続的発展につながる社会性と発展性の高い取り組み」と評価を受けた。

そのほか主な受賞は次の通り。

エクセレントパートナー賞＝フィリピン観光省「ボラカイ島の復活、ツーリズムの持続的発展に向けて」（海外領域地域部門）

学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード＝エイチ・アイ・エス「子ども達の未来の可能性を広げよう！カンボジアの小学校で課外授業！子ども達と学び合う旅」（海外領域ビジネス部門）

DMO推進特別賞＝大雪カムイミンタラDMO「新たなスノーリゾートの形。都市と自然を活用した『都市型スノーリゾート』の取組」（国内・訪日領域地域部門）

デジタル活用特別賞＝ユーエム・サクシード「GPS城廻りアプリを活用した『城おこし』プロジェクト」（国内・訪日領域ビジネス部門）、SoundUD推進コンソーシアム「音のユニバーサルデザイン化社会実現に向けた取組」（同）、ソフトバンク「地域イベントと連動した多言語観光クラウドサービス『Japan2Go』の活用と動態分析事業」（同）

UNWTO倫理特別賞＝屋久島野外活動総合センター「屋久島におけるエコツーリズムの推進」（国内・訪日領域ビジネス部門）

ANTA EXPOブースを拡大

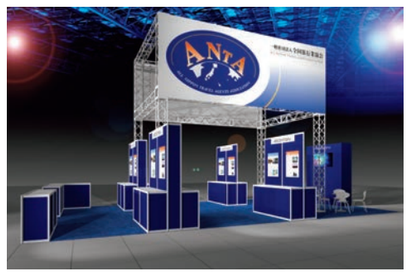
消費者に協会を幅広く周知

全国旅行業協会（ANTA、二階俊博会長）は、24～27日開催の「ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西」に「特別協力」団体として参画し、ブース出展も前回の1小間から8小間に拡張する。協会の活動内容と全国47都道府県で地域に密着した旅行業を営む会員の特徴をPRし、消費者に協会の存在を幅広く周知していく。

大阪府旅行業協会、全旅、旅行ビジネスサポート、来年2月に熊本市で開催する「第15回国内観光活性化フォーラムin くまもと」の地元実行委員会などと共同でブースを運営する。

ANTA会員が加入する団体保険制度や、事務受託会社の全旅が実施する旅行クーポン「全旅クーポン」など、消費者の旅の安全、安心を確保する取り組みをアピール。ANTAと大阪府旅行業協会が中心となり、大阪府内の酒造会社で造られる日本酒の試飲会やANTA大阪支部会員による添乗員セミナーなどを実施し、大阪色を出して旅行の楽しさもPRする。6月の山形県沖地震を受けて、山形、新潟両県の観光応援活動も行う。

併せて、展示ブースを訪れた一般来場者千人に旅行業協会の認知度や旅行に関する意識についての調査を実施し、最近の消費者の旅行動向を機関誌「ANTA NEWS」などで紹介する。

出展するブースのデザイン


VISIT JAPANトラベル&MICEマート

日本最大の訪日旅行に関する商談会

世界33カ国・地域から約331社が参加

ツーリズムEXPOと同時開催

日本政府観光局（JNTO）は10月24日から30日まで、日本最大の訪日旅行に関する商談会「VISIT JAPANトラベル&MICEマート」（VJTM2019）を大阪市のインテックス大阪で開く。インバウンドに携わる日本の約366事業者・団体、訪日旅行を取り扱う海外の旅行会社やメディアなど、世界33カ国・地域から約331社が参加する予定。ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西との同時開催。

大阪での開催は初めて。今回は、「確実に商談ができるアポイントメント商談時間を拡大してほしい」との要望に応え、アポイントメント商談時間を前回の6時間40分（最大20枠）から9時間（最大27枠）に拡大する。

海外からの参加者に向けてファムトリップも実施。観光地などの情報を提供し、商品化を促す。

ファムトリップは全部で12コースを設定した。一般コース（2泊3日、または3泊4日）が①北陸・中部（金沢、高山、下呂＝伝統文化・現代アート）②近畿エリア（京都、神戸＝寺社仏閣巡り・SAKE）③中国エリア（出雲、松江、鳥取＝ハイキング・パワースポット）④四国（高松、しまなみ海道、道後＝しまなみサイクリング・アート）⑤北海道・東北（留寿都、函館、青森＝大自然満喫・ナイトライフ）⑥伊勢・富士コース（伊勢、鳥羽、上諏訪、山梨＝美しい眺望、古社）⑦沖縄・九州（石垣、西表、唐津＝沖縄の自然、アクティビティ体験）。MICEコース（3泊4日）が①東北②関西地区③関東・東京近郊④四国。メディアコース（3泊4日）が①北海道（ニセコ、小樽、札幌＝G20観光大臣会合）。

初の大阪開催に伴い、関西エリアについてもっと知ってもらうため、海外バイヤー・メディアを対象とする「関西視察プログラム」を用意。10月26日のインバウンド商談会終了後の半日視察で、①大阪府内USJ②奈良生活文化体験③大阪府内なにわ体験&グルメ④京都食文化体験⑤京都生活文化体験の5コースを設定している。

前回の商談会

前回のファムトリップ（徳島県、祖谷のかずら橋前）

TCSA ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー

大賞にジャッツの菅谷氏

日本添乗サービス協会（TCSA、三橋滋子会長）は、顕著な功績があった添乗員を表彰する「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019」の受賞者をこのほど発表した。グランプリ（国土交通大臣賞）にはジャッツの菅谷眞弓氏が選ばれた。表彰式は10月25日、「ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西」の会場で開催する。

グランプリの菅谷氏は、添乗経験22年のベテラン添乗員。ツアー参加客からの評価も常に高く、派遣先旅行会社のツアー客アンケートで5年連続1位を獲得し、派遣先からも「高評価添乗員」として過去2回表彰されている。常に「お客さま目線」でツアーを組み立てる力があり、出発前に手配不備なツアーに添乗しても帰国時にはツアー客全員から感謝されるほど、「マイナスをプラスにしてしまう力」が抜きん出ている。

準グランプリ（観光庁長官賞）はツーリストエキスパーツの桝井康平氏が受賞。国内添乗を中心に活躍し、ツアー客からの信頼と評価は常に高く、アンケート評価は所属添乗員の中で上位。昨年5月、「船でめぐる日本一周の旅9日間」コースに参加したパーキンソン病（要介護2）の男性客から「歩ける間に妻と屋久島と函館の夜景観賞をしたい」という念願を聞き、他の参加者のケアもしながら、大王杉への難路は体を密着して支えて目的地まで案内するなどその念願を実現させた。

委員長賞はフォーラムジャパンの髙橋栄氏。国内旅行では社寺仏閣を巡る旅、海外ではシベリア鉄道全線走破の添乗を中心に活躍。極東シベリアの民族文化を訪ねる旅では、持ち前の知識を生かした案内で深い感動を与え、多くのリピーター客を獲得。シベリア鉄道ウラジオストク・モスクワ間の9259㌔全線走破の旅では企画から関わり魅力あるツアー作りに貢献し、派遣先旅行会社から特別表彰を受賞した。

会長賞にはJTBの安田由佳氏が選ばれた。所属会社に30人しかいない「グランドマスター添乗員（総添乗日数3千日以上）」の1人。18年度ツアー客アンケート評価99・0点を獲得。新規の「西南仏コース」や「インドコース」など定番コース以外の難しいコースもこなす。次に担当する添乗員に対して日誌やレポートの作成、企画に対する改善点の提言を行うなど添乗員仲間や企画担当者からの信頼も厚い。

そのほか各賞の受賞者は次の通り（敬称略）。優秀賞＝長尾明美（J&Jヒューマンソリューションズ、山口美由紀（トップ・スタッフ）▽特別賞＝クマール・マノージ（ティーシーエイ）▽奨励賞＝渡邊里美（J&Jヒューマンソリューションス）、齋藤洋子（同）、石川里佳（同）、喜田くみ子（同）、田村賢志（同）、遠藤由美（ジャッツ）、堀井宏哉（ツーリストエキスパーツ）、安斎洋文（TEI）、林亜子（ANAセールス）。

パネル討論も開催

ツーリズムEXPOジャパン会場では、表彰式に引き続き、旅行会社など業界関係者を対象にしたパネルディスカッション「ベテラン添乗員が語る―より良い旅作りのために―」も開催する。

ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2019を受賞した桝井、髙橋、安田の3氏がパネリストとして登壇。今まで培ってきた経験をもとに、「お客さまが求めている旅とは」「添乗員同行ツアーの魅力」「添乗員の有用性」などについて本音で語る。モデレーターはTCSAの三橋会長が務める。

菅谷氏

桝井氏

髙橋氏

安田氏

ドライブスタンプラリー

EXPOブースで紹介

JAF

日本自動車連盟（JAF）は、今回のツーリズムEXPOジャパンブースで、デジタルコンテンツの「ドライブスタンプラリー」を紹介する。

ドライブスタンプラリーは、ドライブを楽しみながら各地の名所や観光スポットを紹介するWEBサービス。スマートフォンを使用して各地にあるスタンプスポットを巡り、スタンプを集めると、地元特産品などが当たるプレゼントに応募できる。

ツーリズムEXPOジャパンでのJAFブースは、このドライブスタンプラリーを体験してもらうため、「ゲームセンター」をコンセプトにしたデザインとした。大人から子どもまで楽しめるボードゲームや、巨大ガチャなどのゲームに挑戦することもでき、各種景品も用意されている。

併せて、ツーリズムEXPOジャパンの会場内に出展している自治体ブースをスタンプスポットとしたスタンプラリーも同時開催する。「スタンプを集めることで、自治体名産品のプレゼントに応募が可能」とJAFブースへの来場をPRしている。

ドライブスタンプラリーのロゴ

Trip（トリップ）全旅　オンラインで宿泊・送迎・航空券の検索・予約ができる新たなシステム
全旅クーポン会員限定!!
●システム使用料なし　●全旅クーポンで自動決済　●販売手数料あり
●ANTA-NET（全旅クーポン専用画面）へログインすれば利用可能
Trip全旅だけで様々なサービスが受けれるようになりました!!
Trip全旅でできること
ホテル予約
■国内・海外約22万棟分のホテルを即時に検索&予約
■ネームチェンジ可能
■バウチャーに金額は表示されません
海外/国内航空券
■公示運賃が表示
■即時検索&予約
■国際線は全エアラインに対応
空港送迎予約
■世界主要都市に対応
■車種（セダン～大型バス）別に料金を表示
全旅クーポン会員へのご入会をお待ちしております！！
クレジットカード決済サービス　対面型全旅ペイメント
低い決済手数料率※
国内発行カード 1.30%
銀聯カード 1.90%
海外発行カード 2.80%
※Visa / Mastercard® / 銀聯のみの取り扱いです。
振込手数料月額利用料
無料
必要なのは初期費用（決済端末代67,000円）のみ
月額の利用料、振込の手数料は無料!
カンタンに導入・運用※
ANTA・JATA会員であれば、旅行関連商品の決済にご利用可能!
光回線（LAN）、アナログ（電話）回線も接続対応!
※全旅ペイメント（メール送信型）をご利用中の会員様は原則利用が可能。（別途申込は必要）
株式会社全旅 営業推進本部 ☎03-5250-2033 東京都中央区銀座1-15-4 銀座一丁目ビル6F（9:00～17:30 /土・日・祝 休み）

全国旅行業協会は日本の観光振興を応援しています